



祝 開校記念式典



平成30年10月27日(土)

午前10時から10時40分まで

新潟県立川西高等特別支援学校

校歌

作詞 校歌制定委員会
作曲 内藤厚人

一
夢を抱いた 仲間たち
喜び 悲しみ 分かち合い
いつも 笑顔で 支え合う
夢を ぼくらは 追いかける
ステップ バイ バイ ステップ
ステップ バイ バイ ステップ
あせらずに ステップ
ステップ バイ ステップ
前に進もう

二
心 つないだ 仲間たち
たがいの ちからを 高め合い
いつも 笑顔で 支え合う
夢を ぼくらは つかみ取る
ステップ バイ ステップ
ステップ バイ ステップ
自分らしく ステップ
ステップ バイ ステップ
ステップ バイ ステップ
前に進もう

<校歌に託した願い>

生徒が、教育目標「夢をえがき 一步一步 前進する生徒」を実現するまでに見せる姿をフレーズに反映させました。

1番では入学した生徒が、初めて出会う仲間と喜びや悲しみを共に分かち合い、一步一步夢に向かって前進する姿を歌詞にしました。2番では、学校生活の中で心がつながった仲間と学習を通して高め合い、卒業後の自らの夢をつかみ取るまでの姿を想像しました。

学校生活の節目で校歌を歌うことで、生徒が初心に戻り、自分の目指す理想の姿を思い出してほしい。また、笑顔で互いに支え合うことができる仲間の大切さに気づき、あせらずに自分らしく前に進み、夢をつかみ取る気持ちを強くしてほしい。そして、生徒の夢を支える保護者・教職員・地域が、成長の過程で見せる生徒の姿を思い起こし、一致団結してほしい。

様々な願いを託したすばらしい校歌に仕上がりました。

校歌制定委員会

開校記念式典 次第

- 1 開式の辞
- 2 国歌斉唱
- 3 式 辞
- 4 校旗樹立
- 5 経過報告
- 6 祝 辞
- 7 来賓紹介・祝電披露
- 8 喜びの言葉・校歌披露
- 9 閉式の辞



開校記念品

<校章に託した願い>



校章には、生徒の社会的自立を目指す姿を通して、地域と共に発展する学校となるために3つの願いを込めました。

- 1 生徒が、大きな花を開花させるために心身を鍛え、自分自身の内面の成長と社会での成長を遂げ、地域に根差した人材として活躍してほしい。(やまゆり：旧川西町の町花)
- 2 生徒が、夢を目指して飛び続ける力を身に付け、広い社会へ力強く羽ばたいてほしい。(3羽の白い鳥)
- 3 生徒が、信濃川のように、たゆみなく・おおらかに・成長し続けてほしい。(やまゆりの葉、信濃川)

校章制定委員会

教育目標 「夢をえがき 一步一步 前進する生徒」

みんなの新しい学校として

校長 水谷 武

当校の沿革は、平成14年、十日町市立十日町小学校内に県立小出養護学校ふれあいの丘分校(小学部、中学部)が開設されたことが始まりです。しかし、実は、その7年も前から、地域の皆様と関係者が「養護学校がほしい会」を組織し、地域の特別支援学校開設に向けた運動を繰り返して聞いています。その後、高等部設置に向けた懇談会を皮切りに、「高等部をつくる会」を発足させるなどの様々な取組を経て、平成20年の高等部開設につながっていきました。このように、一歩ずつ着実に歩みを実現できたのは、関係する皆様の児童生徒への並々ならぬ愛情と、夢の学校づくりへの揺るぎない熱意が大きな原動力となったでしょう。

高等部は、平成22年に県立川西高等学校内に移設されました。以来、川西地区の豊かな自然の中で、人情味あふれる多くの人々に見守られながら、両校の生徒同士の交流学习や保護者・職員同士のPTA行事、研修会などに取り組みました。始めは互いに戸惑いながらも徐々に打ち解け、一緒にいることが当たり前で、自然な形として受け止められるようになり、同じ屋根の下での同世代間の交流を柱とする共生教育が充実していきました。

開校までの歴史に触れるにつけ、身の引き締まる思いがします。これからも、皆様の熱い期待に応えられるよう、より一層地域に愛される特別支援学校を目指していきます。

<校名板に託した願い>

○学校名の文字色

当校のスクールカラーである青色をベースに用いました。生徒が毎日目にする生徒玄関にあることで、自分たちのスクールカラーを意識してほしいと考えました。

○「學」を用いた意味

「學」の成り立ちは、「教える者が、学ぶ者を向上させて交わる場」と言うものです。当校では、教師が生徒の社会自立を実現するために様々なスキルの向上を目指す教育活動を実施しています。教え教わる過程で、生徒も教師もともに高め合うことができる学校を目指します。

書：田邊 武 様(平成28年度 川西高等学校非常勤講師)

校名板寄贈：井川一弘 様(井川建設株式会社 代表取締役社長)

